

みずほCustomer Desk Report 2018/04/27号(As of 2018/04/26)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.37
TKY 9:00AM	109.37	1.2170	133.12	1.3933	0.7568
SYD-NY High	109.49	1.2210	133.25	1.3997	0.7589
SYD-NY Low	109.07	1.2097	132.29	1.3895	0.7547
NY 5:00 PM	109.29	1.2103	132.32	1.3912	0.7552
NY DOW	24,322.34	238.51	日本2年債	-0.1300	1.00bp
NASDAQ	7,118.68	114.94	日本10年債	0.0600	0.00bp
S&P	2,666.94	27.54	米国2年債	2.4858	▲0.41bp
日経平均	22,319.61	104.29	米国5年債	2.8133	▲2.76bp
TOPIX	1,772.13	4.40	米国10年債	2.9819	▲4.77bp
シカゴ日経先物	22,450	145.00	独10年債	0.5915	▲3.85bp
ロンドンFT	7,421.43	42.11	英10年債	1.5040	▲3.55bp
DAX	12,500.47	78.17	豪10年債	2.8805	4.05bp
ハンセン指数	30,007.68	▲320.47	USDJPY 1M Vol	6.90	▲0.45%
上海総合	3,075.03	▲42.94	USDJPY 3M Vol	7.45	▲0.33%
NY金	1,317.90	▲4.90	USDJPY 6M Vol	7.95	▲0.16%
WTI	68.19	0.14	USDJPY 1M 25RR	-0.60	Yen Call Over
CRB指数	201.22	0.53	EURJPY 3M Vol	7.41	▲0.19%
ドルインデックス	91.58	0.41	EURJPY 6M Vol	7.98	▲0.13%

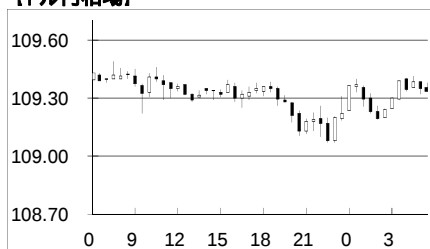
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月26日	20:45	欧 ECB主要政策金利(主要政策金利/限界貸付金利/預金ファシリティ金利)	- 0.0%/0.25%/-0.4%	0.0%/0.25%/-0.4%
	21:30	欧 ドラギECB総裁 講演	「インフレの上向きトレンドの確信ない」	
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 209k	230k
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	3月 2.6%	1.6%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	3月 0.0%	0.5%

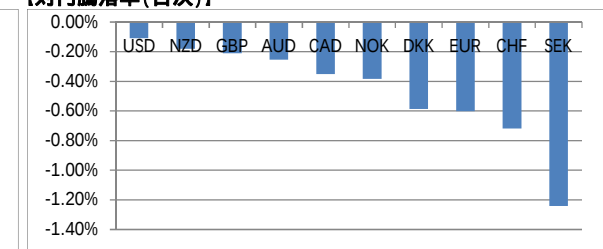
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月27日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	3月 0.5%/2.0%	2%/1.6%
	-	日 日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	- -0.1%	-0.1%
	17:30	英 GDP(前期比/前年比)	1Q 0.3%/1.4%	0.4%/1.4%
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	1Q 2.0%	2.9%
	21:30	米 個人消費	1Q 1.1%	4.0%
	21:30	米 7APCE(前期比)	1Q 2.5%	1.9%
	23:00	英 カーニーBOE総裁 講演	- -	-
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	4月 98	97.8

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.90-109.70	1.2050-1.2150	131.80-133.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は小幅レンジで推移した。ECB理事会後のドラギ総裁の会見において、欧州の景気拡大について、「しっかりと幅広い成長が今後も続く」との見方が示されたことで、ドルが対ユーロで下落したことにドル/円は連れ安となり、一時109.07まで下落した。しかし、下値での買い意欲もあり、109円台前半で動意の乏しい展開に終始した。本日はもみ合う展開を予想する。米ハイテク企業の好決算による米株の上昇や、米長期金利の動きが落ち着いてきたこと等が支援材料となり、ドル/円は底堅い推移になると思われる一方で、南北首脳会談の結果を見極めたい思惑もあり、様子見ムードが強まりそうだ。なお、日銀金融政策決定会合が予定されているが、現状維持との見方から、ドル/円への影響は限定的になると思われる。

東京	朝方のドル円相場は前日海外時間の米金利上昇を背景としたドル買いの流れが継続し一時109.49まで上昇したものの、109円台半ばでは利益確定等を背景とした売りから下押しされ、東京時間のドル円は109.37レベルでオープン。一時109.22まで下落する局面もあったものの、すぐに水準を戻し、その後は目立った材料のない中で109円台前半を中心とした方向感に乏しい推移が継続。結局、109.37レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は109.37レベルでオープン。ドラギECB総裁の記者会見を午後控え、全体的に様子見ムード。109.18レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.2175レベルでオープン。ECB理事会では予想通り金融政策の据え置きが発表されると、ユーロが小幅に売られ1.2157レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3944レベルでオープン。一ヵ月ぶりの安値1.3895まで下落する局面がみられるも、その後は上昇に転じ、1.3955レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 角)
ニューヨーク	NY時間のドル円は109.18レベルでオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が予想を下回り、3月耐久財受注ヘッドラインも予想を上回ったがドラギ総裁の記者会見を控え、ドル円の反応は限定的となる。注目の記者会見では、ドラギ総裁の成長に対する楽観的と取れる発言を受け一旦ドル売りが強まり、ドル円は109.07まで下落するが、ユーロドルが下落する動きや、月末締めドル買いに、109.40まで買い戻される。その後やや小緩む局面もあったものの、終盤に掛けて再びドル買いが優勢となり、ドル円は109.41まで戻し、109.29レベルでクロスした。一方、ユーロドルは、1.2157レベルでオープン。注目のドラギ総裁の会見では「インフレの上向きトレンドの確信が無い」との発言を受け1.2145まで下落するが、「引き続き底堅い成長を見込んでいる」との発言を受け1.2210まで戻す。その後は目新しい発言が見当たらなかったことから、ユーロドルの反応は限定的となるが、徐々に月末締めと思われるドル買いが持ち込まれ、またドラギ総裁のスタンスが予想通りハ派と見られたことからユーロドルはスラップを巻き込み1.2098まで下落。その後ショートカバーに1.2130まで戻す局面もあったものの、ドル買いが強まったことから再び1.2097まで下落し、1.2103レベルでクロスした。(NY半上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:大熊・森谷